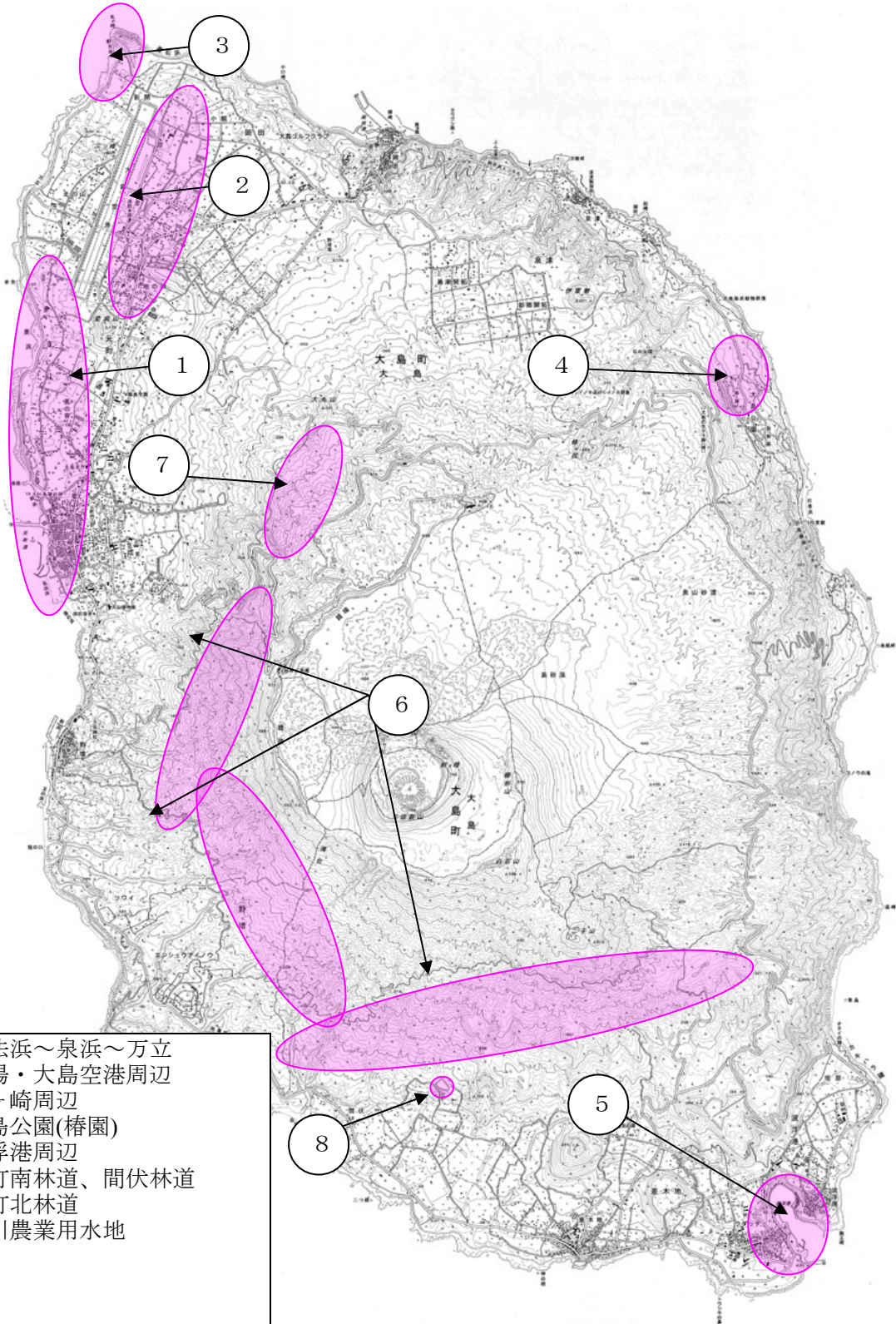


楽しく探そう！！

～大島の探鳥ポイント～



- 1 弘法浜～泉浜～万立
- 2 牧場・大島空港周辺
- 3 乳ヶ崎周辺
- 4 大島公園(椿園)
- 5 波浮港周辺
- 6 元町南林道、間伏林道
- 7 元町北林道
- 8 滝川農業用水地

1 弘法浜～泉浜～万立

大島西岸の岩場、一部砂浜（弘法浜）。

春と秋の渡りの時期を中心に、キアシシギ、チュウシャクシギ、キョウジョシギ、ムナグロ、メダイチドリなどのシギチを見ることができる。

また、クロサギやイソシギなどは繁殖期を除き、比較的よく姿を見ることができる。

2 牧場・大島空港周辺

大島の北西部に位置する。

春秋の渡りの時期にはアマサギなどのサギ類、ノビタキ、ニューナイスズメなどの姿を見かける。

秋には滑走路周辺で狩をする、チョウゲンボウの姿を良く見かける。一部は春先まで滞在している。

春秋の渡りの時期にはムクドリの群れの中に、コムクドリやホシムクドリ、ギンムクドリが見られたこともある。

秋にはアトリやカワラヒワの群れが、せわしく飛び回る姿を見ることがある。

3 乳ヶ崎周辺

大島の北西に突き出た岬。

渡りの時期には、大群のヒヨドリ、メジロ、キジバトなどが岬周辺に集合してくる。これらの鳥を狙って秋から冬場には、猛禽類の姿を良く見かける。

ハヤブサは夫婦と思われる2個体が居ついており、その他、ノスリ、オオタカ、ミサゴ、トビなどの姿を良く見かける。

4 大島公園（椿園）

大島の北東に位置する。

椿の花が咲く冬季には、椿の蜜に集まるメジロ、ヒヨドリの数が急増する。

椿の花びらに宙ぶらりんにつかまって蜜を吸うメジロの姿は、この時期の大島の風物詩でもある。

また、ルリビタキやジョウビタキも数個体ずつ生息しており、比較的姿を観察しやすい。

シロハラ、アカハラ、トラツグミの大型ツグミ類は、林床で餌探しに忙しい。

5 波浮港周辺

大島の南東部に位置する。

冬場を中心に海が荒れた日など、ウミネコ、オオセグロカモメ、セグロカモメなどが湾内や周辺に姿を現す。シロカモメやワシカモメの幼鳥が混じっていることもある。

運がよければ、ミツユビカモメが飛ぶ姿を見ることもある。

また、秋から春にかけて、思わぬカモの姿を発見することもある。クログモ、カルガモ、オナガガモ。ここ1年はシノリガモが1羽居ついて、非繁殖羽から美しい繁殖羽への変化を見せてくれた。

冬場、荒れた沖合いにコアホウドリの姿を見つけることもできる。

6 元町南林道、間伏林道

島の東側及び南東側の林道。

春から夏にかけて沢沿いの森で、オオルリの姿を見かける。

冬場はウソやマヒワの姿を見ることもある。

7 元町北林道

島の東側の林道。

秋の渡りの時期にエゾビタキ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリなどを見ることがある。特に割れ目噴火口周辺で数が多い。

8 滝川農業用水池

島の南東部に位置する。

夏の終わりから春先にかけて、サシバ、ミサゴ、ノスリ、オオタカ、ハイタカ、トビなどの猛禽類の姿をよく見かける。

用水池には、まれにカモ（コガモ、オシドリ）が姿を見せたことがある。

通年、カラスバトの声を聞くことができる。